



広報

こじがや

1月1日

昭和46年 No. 390

編集

越谷市役所行政課

毎月2回(8月5日第1回、15日第3回)郵便物認可



あけまして おめでとうございます

昭和46年元旦



年頭にあたつて

越谷市長 島村平市郎

年頭にあたり、決意と所信を述べ、心を新たにいたしたいと思います。

いまや、首都の周辺都市である越谷市は、都市化現象の大波をまともに受け、人口の急増、行政需要の爆発的増大、スプロール化等、困難な課題が山積しています。

例えば、自動車の普及発達とともに交通問題、科学技術の進歩による企業公害、生活の向上に伴う衛生問題、都市農業問題、学校用地等の公共用地取得、病院、下水道、区画整理、道路、街路事業など、さうに商店街対策、工業の合理化、近代化対策等々、例をあげればきりがなく、越谷市の行政需要を質的、量的に、めまぐるしく変化させております。

まさに激動の七十年代というように、少なくとも越谷市は、この先頭に立たされ、やりなおしのできないテストパイロットの役を果さなければならぬ運命にあると言つても決して過言ではないと思ひます。

このような、新しい行政需要に対処するためには、ある将来の時点をとらえ、総合行財政計画をたて、起るであろう行政需要を早期に見い出し、市民生活の上に生じた数々のひずみの是正に努めながら、市民の側に立った市民の声をより多く求め、積極的市民意識を期待し、重要度、緊急度を適確に判断し、計画的に、事によっては、英断をもつた市行政を開拓することにより、健全で、豊かな、住みよい都市の建設のために、献身的努力を傾注する覚悟であります。

さらに、事業推進にあたっては行政区画の相違のみによる個別の行政投資を行なうよりも、近隣都市、県、政府と十分な連携を保ち、広域行政の観点に立って、ロスのないよう事を運び、一方運営面では、市は、自治体という公法人であることはもちろんですが、少なくとも、いわゆる役所ではなく、住民福祉の向上のためのサービス機関をモットーとし、財源を効果的に運用する公共団体という立場を保持していくつもりです。

マクロの見方に立った越谷市の長期的展望と広域行政、ミクロの立場からのキメの細かい行政をとり、市民サイドで、主義主張をこえた、広く各界各層の意見を聞き、真に民主的で公正な市政をすすめるのが私の念願であります。所信の一端を申しあげ年頭のごあいさつとし、あわせて、皆様のご多幸をお祈りします。

表紙の写真

越谷市は若いまちだ

道路も、下水も、学校も

公園も、商店街も、住宅街も

何もかも

これから伸びていく
これから育てられる

若いまちだ

私たちの力が

若い越谷を成長させていく
住みよい

美しい、魅力にあふれた

越谷市へと成長させる

越谷市は私たちのまちだ
私たちのまちを見まもり
すこやかに育てよう

今月の納税 (1月)

市 県 民 税 4期
国民健康保険税 10期
今月中に市指定金融機関か納税組合へ お納めください。	

市街化調整区域内では原則として建物を建てることができなくなりますが、決定以前に農地転用の許可を受けている方は、既存権利の許可を受けた場合に限り家を建てることができます。

住みよい町づくりのために、都市計画法による区分が八月二十五日付で決定されました。

発行為は該当しません。

市街化調整区域内外

の届け出（建築課）をすると共に事業変更申し立書を農業委員会へ提出してください。用紙は農業委員会にあります。

計画変更される方は、昭和四十年二月二十四日まで既存権利の届け出（建築課）をすると共に事業変更申し立書を農業委員会へ提出してください。

市役所厚生課では、つぎのとおり若妻学級を開催します。
これから母親となる方はぜひ受けましょう。

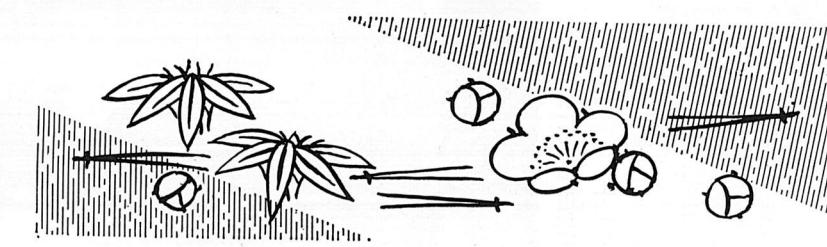
1月25日（月）	妊娠の生理、妊娠中の保健	時間 午後1時30分～3時30分
1月26日（火）	妊娠中の栄養、	申し込み 1月5日から1月16日
まで、厚生課健民係へ電話64		

1月27日（水） 分娩、産褥期、
時間は午前9時から午後3時までです。

若妻学級生徒募集

市街化調整区域内外

農地転用許可後の使用目的の変更について



十四万市民の皆さん、新年おめでとうございます。

一九七〇年は新市長の誕生を迎えて、一九七一年を迎えたわけであります。本年は期待の大きい年と言えましょう。然し市行政面はあらゆる点において苦難の年であります。あくまでも希望は捨てず、大きな希望を持って皆様の御協力をお願いするとともに、皆さんの御清福と御繁榮を心からお祈りいたします。

私は市議会議員として十余年、その間議長として四か年、議会の円満な運営と市政の伸展を第一義として誠心誠意努力してまいりました。おかげをもちまして大過なく越年することができました。これはひとえに皆様の御支援と御協力の賜と心から深く感謝の意を表す次第です。

顧みますと、我が越谷市は、本年を以って発足以来十三年めを迎え、人口十四万をこえるに至りました。全市民の愛郷精神が、極めて旺盛なことと、行政運営のよろしきを得た結果であります。十二年間のあゆみを回顧し、誠に感慨無量でございます。

しかしながら、市民の福祉を増進し、市民生活の安定を図るにはなお重要問題が山積しています。この解決を図ることは、直接市政を担当するわれわれに課せられた責務であり、国および県の施策と相まって市財政の範囲内において最大の効果があがるよう努力する覚悟であります。

また昭和四十六年こそは躍進の年でもあります。

地方選挙、参議院議員の選挙を通じまして市民の代表を選び、私等市民の政治を作る最もよい時期であります。市民の代表として最もふさわしい清潔にして新鮮な政治感覚と豊富な識見、そして卓越した実行力のある代表をいまから心がけ、今後の四年間安心して財政をおまかせできる人を選び、苦難の年を切り抜け、明かるい希望のもてる年にいたしたいと思います。

我が越谷市は三十万の人口を目標に、市民会館、総合運動場、流通業務センター、自然公園、総合病院、レクリエーションセンター、駅ビル等、将来を見越した総合的な振興計画も具体的な作成の段階に入っています。この解説を図ることは、直接市政全般にわたり内容充実のため最大の努力を傾注する所存でありますから、なにとぞ旧例の御指導と御鞭撻をお願い申し上げます。年頭にあたりいさかか所感を述べて御挨拶といたします。

希望と躍進の年として全力をつくし努力を誓う

越谷市議会議長 山崎寛二



たばこの税金が1億2400万円

これは、市民のみなさんが、昭和44年度の1年間にすったたばこの税金です。なげなくすうたばこ代金の中には、20本で14円の市町村たばこ消費税として、市の財政に役立てられます。越谷市でたばこを買うと、その税金は、越谷市の財源となります。

たばこは市内で買いましょう

越谷市消防職員募集

応募資格 満18歳から30歳まで

中学卒以上の男子

申し込み 1月18日（月）まで

くわしくは市行政課（電話64-2111 内線359）

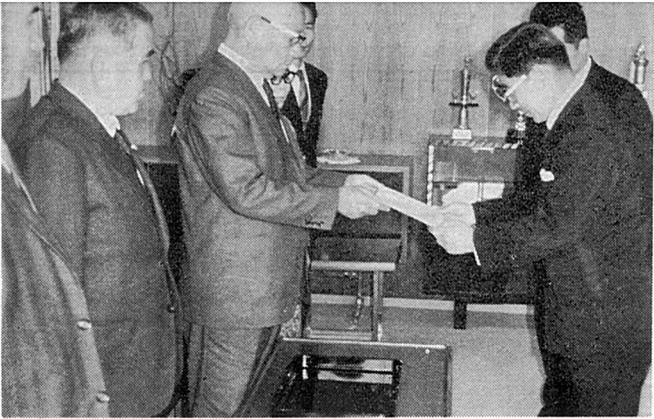
か市消防署（電話63-0101）へ

弁護士による法律相談

とき 1月11日（月）	ところ 市役所1階
時間 午後1時～5時	市民相談室
（無料）	
相談員 弁護士	遠藤順子氏

一九七〇年市勢の動き

首都近郊都市として発展を続けている十四万都市越谷の一年の姿を、写真を中心に紹介しました。十月中旬に、すでに十四万人に達した越谷市の人口は、過去一年間に一万四五〇〇人増加して一日に約四十人ずつ新しい市民が誕生しています。新しい一九七一年は、昨年までの基礎のうえに、昭和六十年には三十万人都市へ成長することを推定して、秩序ある住みよいまちをつくるべく、各種事業をすすめています。



→ 初の投票による市長選挙
十一月

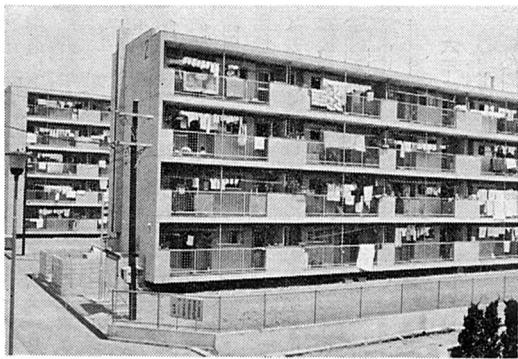


↑ 住民記録電算化の準備、9月から

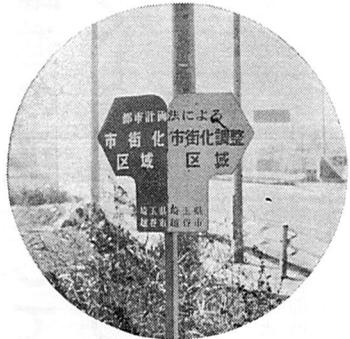
住民基本台帳に記載されている市民の方々の基本的なことを全て、電子計算機におぼこませて、昭和46年からの、市の各種の予防接種や、行政の基礎資料として、利用することができるようになりました。住民基本台帳には1人に1枚ずつのデータカードがつくられています。

↓ 初の鉄筋市営住宅完成……3月
ことし3月には川柳に完成します。

市では、住宅難解消のために、昭和39年から毎年、市営住宅の建設をすすめていますが、3月には弥十郎地区に初の鉄筋コンクリート市営住宅が完成し、市営住宅の合計戸数は第1種48戸、第2種84戸、計132戸となりました。45年度も川柳町に3棟36戸（第1種20戸、第2種16戸）の鉄筋コンクリート建市営住宅の建設工事をすすめています。



△△△△△△



← 市街化区域と
東越谷第一千間台区画整理に着手
五月
新都市計画法による、市街化区域は二二・五八平方キロメートル（市内三七・八%）に指定され、残りの三七・一五平方キロメートルは調整区域になります。新都市計画法による市街化区域は、一二四・九ヘクタールを二工区に分け、総額十六億円で、東越谷第一は、四か年計画で一三・三ヘクタールを総額二億円で、それぞれ区画整理事業に着手しました。公園や、道路上下水道が完備した区画整理が完成すると、見ちがえるほどに住宅地が生まれます。

← 市街化区域と
八月

← すすむ道路舗装
八月
新都市計画法による、市街化区域は二二・五八平方キロメートル（市内三七・八%）に指定され、残りの三七・一五平方キロメートルは調整区域になります。新都市計画法による市街化区域は、一二四・九ヘクタールを二工区に分け、総額十六億円で、東越谷第一は、四か年計画で一三・三ヘクタールを総額二億円で、それぞれ区画整理事業に着手しました。公園や、道路上下水道が完備した区画整理が完成すると、見ちがえるほどに住宅地が生まれます。

道路の整備は、都市化の著しい越谷市にとって、毎年の重要な施策となっています。四十五年度は、一般予算と債務負担行為をあわせて五億六〇〇〇〇万円の予算をかけ、着々と整備していく必要があります。四十五年四月から十二月までに舗装総延長は七・九キロメートルで舗装率は八・四%になりました。



← すすむ道路舗装
八月

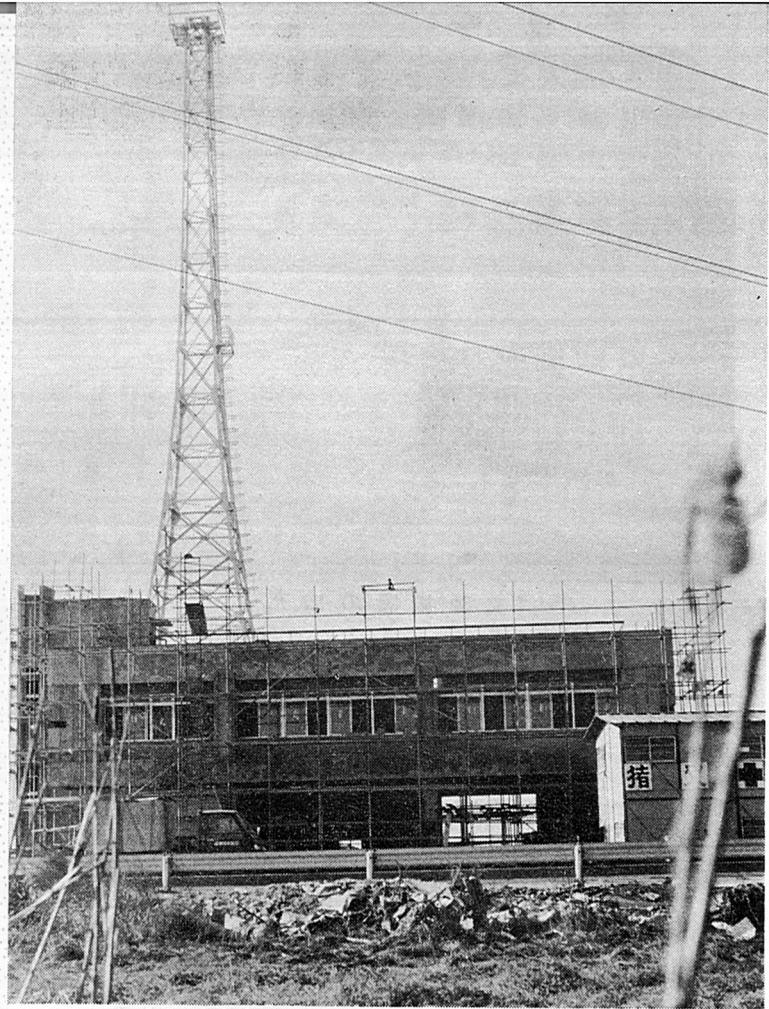


↑ 神明橋完成 12月

県道北越谷停車場線と、越谷浦和線を結ぶ神明橋は、県の施行で12月1日に完成しました。この完成により、バイパスと、野田街道を結ぶ新しい経路ができたため、北越谷地区内の通行量が急速に増加するとともに、荻島出羽地区の人たちには通勤通学などが便利になりました。



← 堂面橋かけかえ完成 四月
新方地区と松伏町十六号国道を結ぶ堂面橋のかけかえは、三三九三万円の工費で四月に完成しました。



↑ 交通公園完成 6月

交通戦争の現代に、市民の皆さんから、犠牲者を出さないようにねがって、南越谷に児童交通公園が完成しました。自転車ののり方や、歩き方などでも、正しい交通ルールの理解が必要です。このほかこどもたちが、安心してあそべる児童遊園地は、12月までに、市役所庁舎うら、蒲生公民館敷地内、川柳駐在所あとなど9か所に新しくできあがりました。



← ごみの無料収集が
市内全域に 10月

ごみの収集は今まで特別清掃区
域を中心に行なわれていましたが、
10月からは市内全域を対象に無料
で収集することになりました。また
もえないごみも、11月から市内全
域から収集することになりました。また
ごみ収集のためのみどりの箱は市
の皆さんにとっても好評で、四十五
年度はすでに三〇〇個を新しく設
置しました。

大沢第1 ↓ 越谷中央 } 保育所が開所 4月

働くお母さん方が安心してこどもを預けられる保育所は、毎年新設していますが、ことし開所した2保育所は、いずれも定員150人で、45年度は、出羽南保育所と桜井南保育所（いずれも定員100人）を10月から建設に着手、ことし4月には開所の予定で工事がすんでいます。



↓ 国保診療所の改築

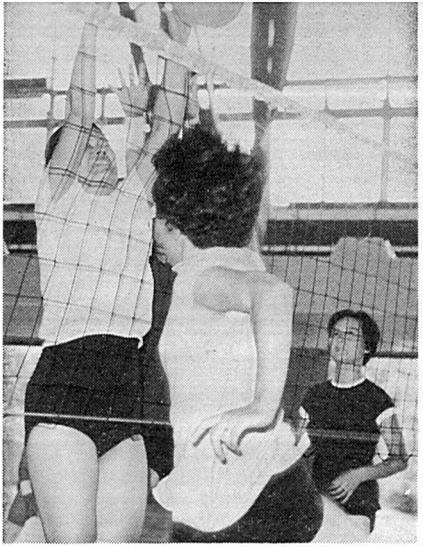
現在の国保診療所は、3月に改築が完成して、診療活動を行なっています。また、市民の皆さんのが、病気やけがをしたとき安心して治療を受けられる、市立病院を建設しようと、4月から建設事務局を設置して市立病院をつくるための調査や準備を開始しました。



↓ 精神薄弱児通園施設を建設中

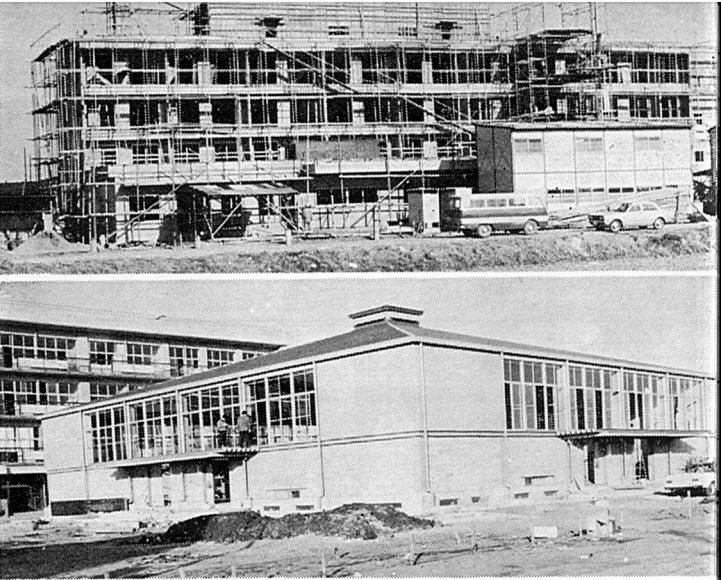
ちえおくれのこどもたちが、家庭から通いながら、勉強したり、生活の訓練をうけたりする施設（仮称越谷学園）を袋山（越谷診療所のすぐうら）に10月から建設中です。鉄筋コンクリート平家建 415.7m^2 で、ことしの4月には開園の予定です。





→ 盛んなスポーツ教室

市民の皆さんのがんばりのため、婦人軽スポーツ、庭球、少年マラソン、チビッ子サッカーなどのスポーツ教室を盛んに行なうほか、歩け歩け大会、ママさんバレー、家庭婦人ボーリングなど、各種のスポーツが盛んに行なわれました。（写真はママさんバレーの熱戦）



↑文教施設の拡充

小中学校の整備拡充は、毎年いちばん力を入れています。4月には、東越谷小学校が開校し、現在、新校舎を建築中のほか、大沢、桜井小の増築、南中、大袋小のプール、荻島小、大相模小、南中の屋内体育場建築などを行ないました。（写真上は東越谷小学校、下は南中体育馆）

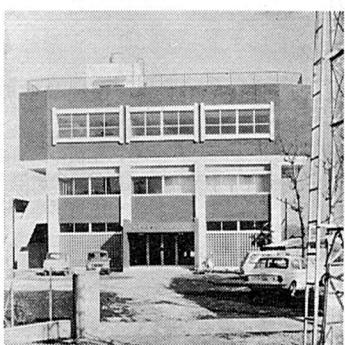


↑市立図書館の活動

市立図書館は、約2万2154冊（10月末現在）の蔵書で、多ぜいの市民の皆さんに利用されていますが、新たに市内4か所に巡回図書館を実施して非常に好評でそのほか質問や相談の受け付け（レファレンス・ワークス）活動も充実し、市民の皆さんにサービスしています。（写真は巡回図書館）

→ 文化連盟発会……一月

越谷の短歌、俳句、民謡、合唱、絵画、書道、華道、茶道など各種の文化団体が一つになった文化連盟が発会し、二月には第一回、十一月には第二回の文化祭が盛大に行なわれました。



→ 荻島公民館が完成……十月

蒲生公民館に次いで、市内で二番目めのモダン建築の公民館です。公民館では各種学級や、講習会、講演会などにいろいろ利用できます。



↑第15回産業祭……12月

市内の農産物と商工物産を紹介する第15回産業祭は、市立第1、2体育馆で3日間開かれ、出品数は農産物1184点、商工物産、52社が展示され、その他各種相談、即売、児童の作品展示なども行なって、非常に盛大でした。

→ 水道の検針と集金

一か月おきになる……八月から

水道業務の効率的運営をはかるために、越谷松伏水道企業団では、草加市、鳩ヶ谷市の水道事業と県雨水道企業団と四者で、埼玉水道サービス公社を設立して、料金計算を電子計算機で行ない検針と集金を一か月おきに行なうことになりました。

また、企業団管内の一日最大配水量が計画を突破し、第一回目の拡張事業を行なわなければならない状態になり、将来利根川の水を受け入れる計画もすすめています。



はじめての 稲作調整

米の生産過剰を防ぐため、国の政策により市では、三三三・三七ヘクタール（一〇六万八三三七kg）の稲作調整が行なわれました。これは市内の田全体の十二%にあたります。また、ヘリコプターによる農薬散布は、六月と八月の二回、それぞれ三一九三ヘクタールの田に行ないました。

